

2011年スタート

日本の川を泳ぐ旅



第 2 弾 四万十川(高知県)

～ 地域にたっぷり愛される日本最後の清流～

2011年8月

「日本の川を泳ぐ旅」の第2弾は、愛媛・高知両県を流れる1級河川の四万十川。清らかな流れとその文化的景観から「日本最後の清流」と呼ばれ、地域はもちろんのこと、全国の人々から愛されている日本を代表する川の一つです。この四万十川で20年以上前から開催されている「第18回四万十川水泳マラソン大会」に参加するために訪問。前日の豪雨で大会は残念ながら中止となり、競技の雰囲気は次回へのお預けとなりましたが、雄大な流れの中での川泳ぎを満喫することができました。

四万十川プロフィール

四万十川は、その源を四国山脈西部の渓流に発し、蛇行を繰り返しながら多くの支流を集めながら大河となり、高知県四万十市（旧・中村市）で土佐湾へと注ぐ四国最大の流域面積を誇る1級河川。流域内には約50の沈下橋が現存し、川が造り出す美しい風景は文化的景観に指定され、また川漁から得られる豊かな恵みは地域の特産となっています。



岩間沈下橋（2011.8.7撮影）



四万十の川の幸（2011.8.7撮影）



地図出典：四万十川自然再生協議会

泳いだ区間のご紹介





ここがスタート地点（舟母乗場）。四万十らしい雄大な流れの中へ・・・。



右岸側は瀬が連続するため、左岸の流れに乗りながら下流へ。



ここも左岸に寄り添いながら流下。空を見上げながら泳ぐと何とも快感。

区間1（四万十川水泳マラソン3.5kmコース）



川漁の舟が何とも四万十らしい風情を醸し出している。

区間1（四万十川水泳マラソン3.5kmコース）



ゴールの赤鉄橋より上流側を望む。2年前は走った記憶のある浅瀬も今年は豊富な流れ。



ゴール地点から地域のランドマークである赤鉄橋を望む。この鉄橋下の渦が最大の難所。



赤鉄橋と四万十川と広い河川敷。来年は無事に熱戦が繰り広げられますように・・・



高瀬沈下橋を下流に望みながらのスィムコース。



勝間沈下橋から上流側を望む。子ども達の遊びの場に。



勝間沈下橋を上流側から望む。手前は浅瀬、そして右岸側はゆったりとした流れが。



いよいよ勝間橋よりジャンプ。事前に深さも確認し大丈夫のはずだが・・・

四万十川の魅力選(1)



四万十川の魅力選(2)



「第18回四万十川水泳マラソン(中止)」の様子



最後に……

残念ながら増水で中止となった大会の当日に、大会運営関係者や参加予定だった選手の方々のご助言とサポートを受け、無事に同じコースを泳ぐことができました。四万十川という素晴らしい川はもちろんのこと、素敵なお人々との出会いもあった四万十川泳ぎとなり、来年こそ大会にリベンジできればと思います。